

科目ナンバリング		G-LAS00 80020 LJ45										
授業科目名 <英訳>		キャリアを広げる研究スキル概論 Introduction to Research Skills for Expanding Career Opportunities					担当者所属 職名・氏名		総合研究推進本部 特定准教授 仲野 安紗 総合研究推進本部 白井 哲哉 総合研究推進本部 長谷川 景子 総合研究推進本部 佐々木 結 総合研究推進本部 鮎川 慧 総合研究推進本部 天野 絵里子 総合研究推進本部 齊木 あや			
群	大学院共通科目群			分野(分類)	社会適合			使用言語	日本語			
旧群		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義(対面授業科目)					
開講年度・ 開講期	2026・ 後期集中		曜時限	集中 2026年11月7日(土) 10:30- 12:00 13:00-16: 00, 11月14日(土) 10: 00- 12:00 13:00-17:00		配当学年	大学院生	対象学生	全学向			
【授業の概要・目的】												
<p>京都大学においては多くの学生が大学院に進学するが、修士・博士課程を修了後、研究を通じて学んだ知識を、学術機関を含む社会において活用するスキルを修得する機会は少ない。本授業では、学術機関を中心とした研究をとりまく環境について最近の動向を知るとともに、課程修了者が、学術・産業・官界において研究開発者や研究支援者として活躍する際に必要な基本スキルの獲得を目指し、講義と演習を行う。具体的には、国際的な研究者として必要な倫理観をはじめ、研究費の獲得、研究成果の管理と発表、社会との双方向コミュニケーション等の一連の研究サイクルに関する知識を学ぶ。特に、日本学術振興会特別研究員への応募申請書を例に取り、その作成を想定して自己評価を促し、研究活動の展開に役立つスキルを修得する。なお、講師陣には本学の教員に加え、研究推進支援を担うリサーチ・アドミニストレーター(URA)も参加予定である。</p>												
【到達目標】												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究のサイクルを理解し、研究提案書、計画書等の作成に必要な知識技術を身に付ける ・ 社会の様々な場面で展開できる研究推進・マネジメントスキルの基本を修得する ・ 研究成果の適切な管理と発信、社会とのコミュニケーション方法について理解する 												
【授業計画と内容】												
<p>第1回 大学で研究を進めるために知っておくべきこと(佐々木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会から見た研究と研究評価 ・ 研究者としての責任 ・ 科学技術イノベーションと研究 <p>第2回 研究資金申請書を通じた自己分析(講義・演習)(仲野・長谷川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究実施と研究資金制度 ・ 研究経験に対する期待と強み ・ 演習 <p>第3回 研究資金申請書を通じた自己分析(講義・演習)(仲野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究資金申請書を通じた自己点検 ・ 演習 <p>第4回 科学コミュニケーション(講義・演習)(白井)</p> <p>第5回 研究の伝え方(講義・演習)(白井)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門外の人に研究を伝える技術 ・ プレゼンテーションスキル、デザインスキル、質疑応答への対応 等 												
----- キャリアを広げる研究スキル概論(2)へ続く -----												

キャリアを広げる研究スキル概論(2)

第6回 研究成果の管理・共有（天野）

- ・研究成果の管理・共有において知っておくべきこと
- ・研究データとオープンサイエンス
- ・Scholarly Communication

第7回 研究経験を通じて広げるキャリア（鮎川、齊木）

- ・ネットワーク構築
- ・海外留学・海外ポスドク
- ・高度専門人材としての研究プロジェクトマネジメント人材

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

- ・事前課題への取組・提出
 - ・授業および演習への積極参加
- により評価する。

【教科書】

必要に応じて、講師が用意した資料を講義中に配布する。

【参考書等】

（参考書）
なし

【授業外学修（予習・復習）等】

講師により与えられる事前課題を、自らの研究課題と関連付けて取り組むこと。また、得られた知見を復習して実践的に活用できるようにする。講義の最終日に課すアンケートに回答する。

【その他（オフィスアワー等）】

本授業は大学院教育支援機構の教育能力向上コースの一環として開講する。

【主要授業科目（学部・学科名）】